

肌を刺すような寒さの中にも、時折春の暖かい風が感じられるようになりました。私たちは今日、3年間の高校生活を終え、新たな一步を踏み出そうとしています。

3年前、季節外れの雪が降る中、私たちはこの所沢北高校に入学しました。少しの不安と希望を胸にしたあの日から今日まで、本当に色々なことがありました。入学してすぐに開かれた新入生歓迎会では、部活動紹介に圧倒され、これから始まる部活動に心躍らせました。初めての体育祭では、先輩方の熱い想いと、私たちを巻き込んで楽しませてくださったその姿に憧れました。2年生での修学旅行では、北海道に行きました。小樽の美味しい食べ物や函館のきれいな夜景を楽しみ、開通したばかりの北海道新幹線で大宮まで帰ってきました。班行動のために何度も話し合いを重ね、絆を深めた修学旅行となりました。

そして、全てをかけた3年生。3年生になったばかりで慌ただしい中、後輩の前に立つ初めての行事は、思った通りに準備が進められず、もどかしい思いをしながらも、部活動や委員会で培ってきたリーダーシップを発揮し、力を合わせてやり切ることができました。壁画を倒して一緒に写真を撮ったことは、忘れられない思い出です。

文化祭では、どの団体も個性あふれるものを作り上げ、6323人という昨年度を上回る来場者数を記録しました。今年は例年よりも準備期間が短かったにもかかわらず、大型アトラクションを企画する団体が増え、夏休み中も準備をし、全員で盛り上げることができました。これらの行事を始めとする学校生活で、私たちは多くのことに悩み、気づき、大きく成長してきたと実感しています。

「文武両道」の所北では、多くの方が部活動にも力を入れてきました。何事にも全力な仲間から、いつもたくさんの刺激をもらいました。技術だけでなく、人として大切なことも教えていただいたと思っています。私自身、生徒会と勉強と部活動を両立できるか悩み、辞めたいと思うこともありました。それでも引き留めて、最後まで続けさせてくださった先生と仲間には、感謝してもしきれません。全てを投げ出さずにやり切って、本当によかったと思っています。ありがとうございました。辛いこともたくさんあったけれど、高校生でしかできない、やりたいことをすべてやり通すことができた私たちは幸せ者です。

在校生の皆さん、是非、1年後ここに立った時に後悔しないように、高校生のうちにしかなできないことを、すべてやり切ってください。所沢北高校は忙しい学校です。しかし、仲間とともに全力になってあらゆることに取り組み、成長していけるのが、所沢北高校のいいところだと思います。自分の好きなことや、自分が決めたことを最後までやり抜き、今よりもっと素晴らしい学校をつくっていきましょう。

また、学校には様々な場面で支えてくださった先生方がいました。いつも真剣に悩みを聞き、弱音を吐くと励ましてくださった先生。道を踏み外してしまう前に本気で叱ってくださった先生。わかるまで根気強く教えてくださった先生。いつも私たちのことを一番に

考えてくださる、個性あふれる所沢北高校の先生方が、私は大好きです。3年間、本当にお世話になりました。

そして、誰よりも感謝しなければならないのが、家族です。私たちは18歳になり、それぞれ多様な価値観の中で悩み、もがき、家族に計り知れないほどの迷惑をかけてきました。きっとここにいるほとんどの生徒が、家族と衝突したことがあるでしょう。しかしその中で、何をしても見捨てずに私たちを信じて待っていてくれたことに気が付きました。今日まで本当にありがとうございました。そしてこれからも、さらに悩み、学び、成長し続ける私たちのことを暖かく見守ってください。

私たち365名は、これから全く別々の道を歩み新たな環境に飛び込んでいきます。その中で様々な困難に出会い、戦っていくことでしょう。正直なところ、不安で仕方ありません。しかし、私たちは信じられないほど濃く、あっという間に過ぎ去った3年間で、継続の難しさ、努力の大切さ、そして命の尊さなどたくさんのことを学びました。かけがえない仲間もできました。これらの全てが私たちの自信につながっています。所北でたくさんのもので得ることができたからこそ、どんなところでもやっていける、どんなことが起きても乗り越えていける、そう心から信じることができます。所沢北高校の卒業生であることに誇りを持ち、それぞれの道を一步一步堂々と進んでいきます。そして次に会ったとき胸を張ってられるように、毎日を精一杯生きていきます。

結びに、ご多忙の中、多くの皆様にご臨席いただきまして、誠にありがとうございました。皆様のご健康とご多幸、そして所沢北高校のさらなる発展を願って、答辞とさせていただきます。

平成30年3月14日 卒業生代表 内田萌美